

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	0256-72-8844(岩室地区公民館)
------	-----------------------

年度	令和6年度		
施設名	新潟市岩室地区公民館	所管部・課	新潟市中央公民館
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R6.7.24
歳入	616	正職員	3	修正日	
歳出	10,910	会計年度任用職員	1	評価日	R7.7.25

No.	視点	目標	評価指標						参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6結果				
1	市民	学習施設として、広く市民の方から目標値以上に利用してもらうことを目指します。	年間利用者数1万人以上(単位:人)	6,546	9,847	10,949	10,000	11,121	岩室・間瀬公民館の利用者数(事業数の見直しを踏まえ、昨年度目標と同数)	岩室地区公民館 11,031人 間瀬公民館 90人	設備故障で一部貸館不可だが、コロナ過前のように活動も徐々に戻りつつあり利用者が増加	B:達成
2	市民	地域コミュニティづくりをすすめ、地域団体(コミ協、自治会、育成協、など)と共に学習の場づくりを目指す。	地域団体等との連携事業数(単位:件)	3	4	4	3	5	岩室中文化部、保育園、岩室民俗史料館、岩室児童館、地域民間施設、民間団体、青少年育成協議会	岩公まつり、親子デイキャンプ、ポッチャ体験教室、正月飾りづくり、おもちゃ病院	地域団体等と連携・協力しながら事業を実施	B:達成
3	市民	地域と学校と協働した講座を開催し、ネットワークづくりを支援します。	出前型講座(単位:回)	3	1	1	3	2	会場:小学校2	美文字講座(和納小) ハンドマッサージ講座(岩室小)	地域教育コーディネーターと連携を図り、学校を会場に実施	C:未達成
4	財務	効率的な施設運営を行い経費削減に努めます。	運営コスト(1人当たりの光熱水費)300円以下(単位:円)	484	375	368	370	360	光熱水費(灯油、電気、ガス、水道)の1人当コスト(岩室・間瀬公民館) (燃料費高騰を考慮し昨年度目標と同数)	電気 2,328,262円 灯油 1,318,254円 ガス 87,086円 水道 271,012円	利用者が増えていることもあり、一人当たりの運営コストは目標を上回ることができた	B:達成
5	業務	災害などに迅速に対応できる体制づくり	防災訓練を年2回以上実施(単位:回)	2	2	2	2	2	防災訓練を2回以上実施する。(岩室・間瀬地区公民館)	年2回防災訓練(通報、消火、避難訓練)	11月と3月に実施。11月は利用者と共に避難訓練を実施	B:達成
6	業務	市民の方から安心して利用していただける施設運営を行い、事故防止に努めます。	施設利用者の事故発生件数を0(単位:件)	0	0	0	0	0	施設利用者の事故防止に努め発生件数0とする(単位:件)	S54竣工施設のため、設備関係の維持管理に重点を置く	日常点検を行い早期発見、早期修繕を行った	B:達成
7	人材	施設目標を達成するうえで、必要な知識やスキルの向上を図ります。	人材研修を年間3回以上実施(単位:回)	3	3	3	3	3	公民館全職員を対象に研修を実施	コンプライアンス、情報セキュリティ、ハラスメント研修	研修による再確認と職員同士の情報共有を図った	B:達成
8	市民	公民館事業(講座)の満足度	事業終了後の満足度80%以上(単位:%)	98	95	92	90	93	令和4年度からの追加項目(講座参加者のアンケート実施)	子供体験教室、法律講座、親子デイキャンプ、親子ミニ門松づくり、歴史文化探求講座など	事業のアンケート結果の平均満足度は93%となり参加者の評価は概ね高かった	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
・地域活動・サークル活動の拠点として、地域コミュニティ活動の活性化に寄与します。 ・利用者数・稼働率の向上を目指し、市民でにぎわい親しみやすい公民館を目指します。 ・地域の人材を活用し、ボランティア講師をお願いするなど工夫して経費削減に努めます。 ・地域と学校、社会教育施設が協働する事業を展開します。	近年、公民館を定期的に利用していた団体の中には、高齢化により活動を休止・縮小する団体や、施設設備の故障などを理由に、他の施設に活動拠点を移した団体も見受けられました。こうした状況がある一方で、地域住民が気軽に参加できる講座やイベントなどを積極的に実施するなど、稼働率の向上に努めた結果、全体としては公民館の利用者数は増加傾向です。 また、地域の事業者と連携し、屋外施設などを活用したアウトドア講座を開催するなど、柔軟な発想での事業展開も行っています。今後も、利用者アンケートや地域の声を丁寧に拾い上げ、地域ニーズを的確に反映した講座や事業の企画に努めます。併せて、より効果的な広報手段を工夫しながら、利用者の拡大、公民館の活性化につなげていきます。 一方で、公民館施設の老朽化は年々進行しており、修繕や更新が必要な設備が徐々に増加しています。必要に応じた修繕を実施しながら、可能な限り経費の節減にも努めてまいります。